

# 月刊 社会保険 9

2019 VOL.830

一般社団法人  
全国社会保険協会連合会

協会けんぽの平成30年度決算見込み(医療分)について<協会会計と国の特別会計との合算ベース>

協会けんぽからのお知らせ

事業主・加入者の皆さまへ 令和元年度被扶養者資格再確認について

日本年金機構からのお知らせ

2019年9月1日に「日・中社会保障協定」が発効します。

障害年金受給者が行う手続きの変更について

平成30年版厚生労働白書～障害や病気と向き合い、全ての人活躍できる社会に～(概要)

2018(平成30)年度年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)

協会けんぽの平成30年度決算見込み(医療分)について<協会会計と国の特別会計との合算ベース>	4
<b>協会けんぽからのお知らせ</b>	
事業主・加入者の皆さまへ 令和元年度被扶養者資格再確認について	8
<b>日本年金機構からのお知らせ</b>	
2019年9月1日に「日・中社会保障協定」が発効します。	10
障害年金受給者が行う手続きの変更について	12
平成30年版厚生労働白書～障害や病気と向き合い、全ての人が活躍できる社会に～(概要)	13
2018(平成30)年度年金積立金管理運用独立行政法人(GPIF)の運用状況(概要)	16
社会保険・労働保険の手続きと届出様式 第5回 雇用保険の資格取得届 監修/社会保険労務士法人SKMオフィス	18
年金・健康保険委員活動報告 年金委員活動これからも 公益財団法人復光会総務課長 磯谷 武寛	20
書評 ヤニス・バルファキス著/関 美和 訳『父が娘に語る経済の話』	22
持続可能な社会の扉を開けた人たち 第8回(前編)「転倒予防」を社会的な課題と捉える。それが日本の高齢化の希望となる。 東京健康リハビリテーション総合研究所所長、日本転倒予防学会理事長 武藤 芳照 株式会社朝日エル会長 岡山 慶子	23
日本とは異なるイタリアの高齢者事情 第5回 イタリアの高齢者ドライバーの事故と運転に対する考え方 イタリア在住ジャーナリスト 西ヶ久保 徹郎	26
認知症を予防する② 第5回 歯周病菌、幹細胞、ミクログリアとアルツハイマー病 お茶の水健康長寿クリニック院長 白澤 卓二	28
社会保険Q&Aシリーズ 健康保険編 30/年金保険編 32/介護保険編 34/労働保険編 36 特定社会保険労務士 鈴木 ひろみ	

表紙写真・竹内敏信/イラストレーション・水森亜土、/デザイン・STデザイン、(有)フェイム/編集協力・(株)アップルハウス/印刷・(株)エイエヌオフセット

表紙のこぼれ——竹内敏信 「光の響」「水の風景」

熊本県草千里ヶ浜



草千里ヶ浜は、阿蘇を観光する人が必ずといっていいほど訪れる有名な観光スポットである。大草原の中に池があり、壮大で不思議な場所でもある。

有名な観光スポットであるため、多くの観光客がいる。今では海外からも観光に訪れると聞いている。道中は多少困難はあるが、観光客が多いため比較的行きやすくなっている。

草原の中にあるので夏、または9月初めの頃がいいだろう。私が撮影したときは、夏の終わり。太陽が低くなりだし、影が細長くなる時期である。その頃は空気が澄み出し、光を見るには実にいいタイミングといえる。

© 本誌制作にあたっては、国等からの補助金等を一切受けておりません。

# 年金委員活動これからも



公益財団法人復光会 総務課長  
磯谷 武寛

●地域紹介  
船橋市は、千葉県の北西部にあり、東京と県庁所在地である千葉市のほぼ中間に位置しています。人口は約63万人。千葉県の中では千葉市に次いで県内2位、中核市では最大の人口を抱えています。

中山競馬場、船橋ららぽーとなどレジャー施設が多く、都市化地域にあつて船橋県民の森やアンデルセン公園、市立金杉自然の森のほか、西隣の市川市沖にかけて広がる貴重な干潟「三番瀬」が望めるふなばし三番瀬海浜公園があり、憩いの場になっています。船橋大神宮は「延喜式」にも意富比神社と記されている古い神社であり、その灯明台は、県の有形民俗文化財に指定されています。

スポーツ健康都市として、スポーツがとてめさかなな街です。バスケットボールの千葉ジェッツとラグビーのクボタスピアーズは、船橋市を拠点に活躍する2大プロスポーツチームです。また、当法人に隣接している市立船橋高校は、サッカー、駅伝、体操等が強くスポーツ強豪校として有名です。

●事業所紹介  
私が勤務する復光会は、昭和27(1952)年8月、敗戦による社会不安

が治まらず、特に青少年の間に覚醒剤乱用の悪習が蔓延していた時代、中毒性精神疾患の治療および患者の社会復帰を目的として、千葉県知事の許可により「財団法人」として設立しました。

現在は、平成25(2013)年4月内閣府から認定され「公益財団法人」となり、令和元(2019)年7月現在、千葉県船橋市に総武病院(458床)精神科救急病棟45床、亜急性期病棟58床、シルバーケア病棟58床、精神療養病棟297床、同敷地内に介護老人保健施設「やすらぎ」(100床)一般療養棟60床、認知症専門棟40床)、東京慈恵会医科大学との連携研究機関である社会精神医学研究所、兵庫県神戸市に垂水病院(289床)精神科急性期病棟55床、精神療養病棟60床、精神一般病棟174床)を運営しています。

●年金委員としての活動  
平成8(1996)年4月に復光会に入職し、総武病院医事課に配属され、主な業務は窓口での患者対応や医療費の請求、保険者に診療報酬を請求する業務でした。平成14(2002)年4月に復光会本部総務課へ異動となり、職員の入退職、傷病手当金手続等の社会保険業務を担当するよ

うになりましたが、まったく仕事内容が違ったため覚えることに大変苦労しました。

平成17(2005)年に社会保険委員に委嘱され、当時船橋・市川支部で発行されていた社会保険委員手帳を持参して、算定説明会や年金記録問題、年金請求事務代行研修会等に積極的に参加することで社会保険制度、年金制度の知識を少しずつ習得し、従業員やその家族の社会保険や年金記録問題等の相談相手として、多少ではありますがお役には立つことができました。

平成22(2010)年に社会保険委員から年金委員になり、平成24(2012)年からは船橋年金委員会役員に、監事を経て、他の役員の皆様のご指導を受けながら現在会長の責務を負っています。

この間、平成26(2014)年に日本年金機構南関東ブロック本部長表彰、平成28(2016)年に日本年金機構理事長表彰を受けました。これからもこの表彰に恥じないように年金委員として活動していきたいと思っています。

昨年、2日間にわたり行われた「全国年金委員研修」に参加しました。その研修の講演で「世代間の不公平があり、未納が多いと年金制度が崩壊

する」等のネガティブな情報に流されず、公的年金の原理をよく理解すべきとお話がありました。  
公的年金保険は、終身受給で「長生きリスク」への掛捨て保険であること、積立貯蓄という理解が誤りであること、未納者の割合は非常に少ない等の言葉は、老後生活の安心は公的年金制度以外にないことを再認識しました。

●年金委員会における活動(カッコ内の数字は、平成31(2019)年3月31日現在の年金委員数)  
千葉県には、私が所属している船橋年金委員会(239)のほか、千葉(436)、幕張(431)、市川(257)、松戸(356)、木更津(470)、佐原(248)の7年金委員会があり、また各委員会会長、副会長で構成する千葉県年金委員会連合会があります。

船橋年金委員会は、239名で構成され、役員は会長、副会長、常任幹

事、監事、代議員3名の体制となっています。  
委員会活動としては、年金制度の現状を理解してもらうことを目的とした委員事務研修会の実施、会員の皆様が実務するうえでの一助になるものとして、参考図書(月刊社会保険、社会保険の事務手続き)を配付しています。これからも年金事務所と連携を図り、会員の皆様の意見が反映できるよう年金委員として活動していきたいと思っています。

●最後に  
従業員から年金について相談があった際、法律等の改正により複雑化していることや個人の状況を正確に把握しなければ対応できないことが多いため、そのまま年金事務所に相談に行くよう促すときがありました。

相談内容は、自分はいくらもらえるか、いつから受給するのがいいか、在職老齢年金についてとさまざまですが、今は「ねんきんネット」で概ね相談内容が理解でき、とても便利になってきていると思います。しかし、「ねんきんネット」の周知が乏しく、利用している人はまだ多くないのではと感じています。  
今後は年金委員として、この「ね



公益財団法人復光会総武病院

んきんネット」の利用を社内報や社内掲示することで、より多くの従業員に呼びかけていきたいと思っています。

います。  
(船橋年金委員会会長 千葉県年金委員会連合会副会長)